Cisco Secure Endpoint Linuxコネクタの長期サポート

内容

はじめに

Cisco Secure Endpoint Connectorの長期サポート

- LTSのお知らせ
- 凡例
- エンタープライズLinux
- Amazon Linux
- SUSE Linux EnterpriseおよびopenSUSE Leap
- Ubuntu LTS（日本での対応時期未定）
- デビア

コネクタの長期サポートポリシーの設定

以下も参照のこと

はじめに

このドキュメントでは、Cisco Secure Endpoint Linuxコネクタの長期サポート(LTS)の確約について説明します。

Cisco Secure Endpoint Connectorの長期サポート

Cisco Secure Endpoint Connector LTSは、Linuxディストリビューションがバグ修正とセキュリティパッチのみを受け取り、新機能を一切受け取らない期間です。

コネクタLTSは、Linuxディストリビューションで公式にサポートされている最新のカーネルのみをサポートします。コネクタLTSに移行したディストリビューションは、ディストリビューションベンダーの定義に従ってサポート終了が近づいており、お客様はエンドポイントを、公式にサポートされている最新バージョンのディストリビューションおよびカーネルに更新する必要があります。また、コネクタLTSが終了する前に、エンドポイントを新しいディストリビューションにアップグレードする準備も必要です。

コネクタLTSは、ディストリビューションのベンダーポリシーに従って、サポートが終了したディストリビューションの最新バージョンのみをサポートします。たとえば、Enterprise Linux 7の最後のマイナーリリースであるバージョン7.9は、コネクタによって長期間サポートされます。これは、セキュアエンドポイントソフトウェアサポートポリシーに従っています。

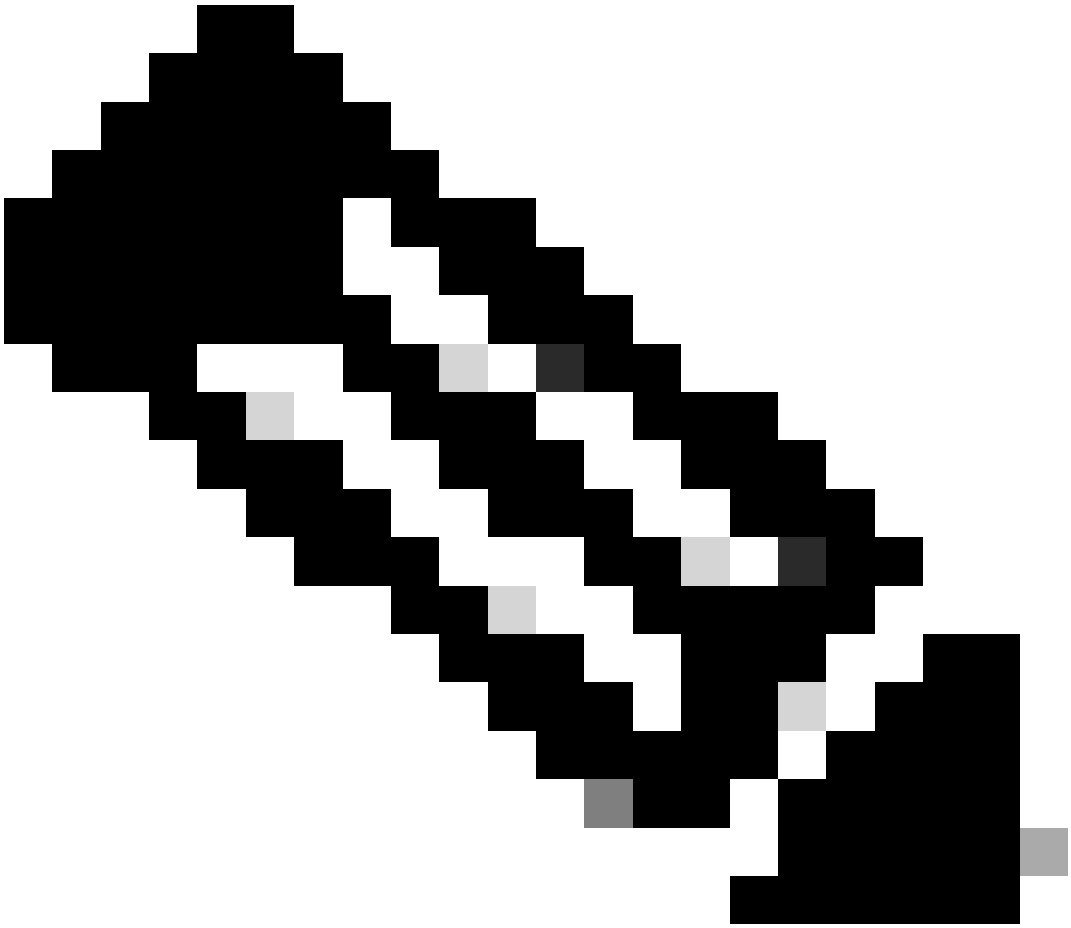
すべてのオペレーティングシステムに対するセキュアエンドポイントソフトウェアのサポートは、ベンダーが公表しているサポート終了スケジュールに合わせて調整されます。

コネクタLTSは、レガシー配布用に指定されたコネクタLTSバージョンファミリで使用可能な最

新のパッチバージョンのみをサポートします。たとえば、コネクタLTSバージョンファミリが1.20.Xの場合、Xは使用可能な最大パッチバージョンである必要があります。引き続きサポートを受けるには、コネクタのLTSバージョンを最新のパッチバージョンにアップデートする必要があります。

コネクタLTS期間を過ぎてから使用されるLinuxディストリビューションでは、Cisco Secure Endpointのサポートが失われます。これは、サポートが終了したLinuxディストリビューションに当てはまります。

- シスコのエンジニアリング部門では、これらのディストリビューションでのセキュアエンドポイントコネクタの開発、修理、メンテナンス、テストは行いません。
- Cisco Technical Assistance Center(TAC)は、これらのディストリビューションでセキュアエンドポイントコネクタのサポートを提供しません。
- 製品のすべてのサポートサービスが利用できなくなり、製品は廃止されます。



注：サポートは、有効なサービス契約とサポート契約をお持ちのお客様向けに、サポート対象オペレーティングシステムとディストリビューションに関するお客様のサービス契約の条件に従って継続されます。

RPMベースおよびDebianベースの互換性については、『Linuxシステム要件および表』を参照してください。

LTSのお知らせ

配信	バージョン	LTSアナウンス
Enterprise Linux(EL)	7	2028年6月30日終了
	8	2029年5月31日から開始
	9	2032年5月31日から
SUSE Enterprise/openSUSE Leap	15 SP3 / 15.3	2025年12月31日終了
	15 SP4 / 15.4	2026年12月31日終了
	15 SP5 / 15.5	2024年12月31日から開始
デビア	11	2026年6月30日終了
	12	2026年6月10日から開始
Ubuntu LTS（日本での対応時期未定）	18.04	2028年4月1日終了
	20.04	2025年4月2日から開始
	22.04	2027年4月1日から開始
	24.04	2029年4月25日から開始
Amazon Linux	2	2026年6月30日終了
	2023	2027年6月30日から開始

凡例

	サポート
	LTSファミリバージョンでサポート（現在はCisco Secure Endpoint Connector LTS）
	サポート対象外。Cisco Secure Endpoint Connector LTSの終了を過ぎています。

エンタープライズLinux

Enterprise Linux(EL)向けCisco Secure Endpoint Connector LTSには、次のディストリビューションが含まれます。

- ロッキーLinux
- アルマLinux
- Red Hat Enterprise Linux(RHEL)

- Oracle Linux(RHCK)
- CentOS Linuxの場合
- Oracle Linux

RHELの「End of Maintenance Support（メンテナンスサポート終了）」と「End of Extended Life Cycle Support（延長ライフサイクルサポート終了）」は、ELベースのディストリビューションのコネクタLTS期間を決定するために使用されます。

ディストリビューション	ディストリビューションベンダー		Cisco Secureエンドポイントコネクタ	
	メンテナンスサポートの終了	延長ライフサイクルサポートの終了	LTSの終了	LTSバージョンファミリ
EL9	May 31, 2032	May 31, 2035	May 31, 2035	TBD
EL8	May 31, 2029	May 31, 2032	May 31, 2032	TBD
EL7	2024年6月30日	2028年6月30日	2028年6月30日	1.24.X
EL6	2020年11月30日	2024年6月30日	2024年11月7日	1.20.X

Amazon Linux

Amazon Linux 2の標準サポートの終了とセキュリティサポートの終了は、同じ日に終了する予定です。したがって、Cisco Secure Endpoint Connectorの長期サポート(LTS)もこの日に終了します。

ディストリビューション	ディストリビューションベンダー		Cisco Secureエンドポイントコネクタ	
	標準サポートの終了	セキュリティサポートの終了	LTSの終了	LTSバージョンファミリ
Amazon Linux 2023	2027年6月30日	2029年6月30日	2029年6月30日	TBD
Amazon Linux 2	2026年6月30日	2026年6月30日	2026年6月30日	N/A

SUSE Linux EnterpriseおよびopenSUSE Leap

ディストリビューション	バージョン	ディストリビューションベンダー		Cisco Secureエンドポイントコネクタ	
		一般的なサポートの終了	長期サービスパックのサポート終了	LTSの終了	LTSバージョンファミ

					リ
SUSE Enterprise/Leap	15 SP6 / 15.6	TBD	TBD	TBD	TBD
	15 SP5 / 15.5	2024年12月31日	2026年12月31日	2026年12月31日	1.25.X
	15 SP4 / 15.4	2023年12月31日	2026年12月31日	2026年12月31日	1.24.X
	15 SP3 / 15.3	2022年12月31日	2025年12月31日	2025年12月31日	1.24.X
	15 SP2 / 15.2	2021年12月31日	2024年12月31日	2024年12月31日	1.24.X
	15 SP1 / 15.1	2021年1月31日	2024年1月31日	2024年1月31日	1.24.X
	15 SP0 / 15.0	2019年12月31日	2022年12月31日	2024年1月31日	1.24.X

Ubuntu LTS（日本での対応時期未定）

ディストリビューション	ディストリビューションベンダー		Cisco Secureエンドポイントコネクタ	
	メンテナンスおよびセキュリティサポートの終了	拡張セキュリティメンテナンスの終了	LTSの終了	LTSバージョンファミリ
Ubuntu LTS 24.04	2029年4月25日	2036年4月25日	2036年4月25日	TBD
Ubuntu LTS 22.04	2027年4月1日	2032年4月9日	2032年4月9日	TBD
Ubuntu LTS 20.04	2025年4月2日	2030年4月2日	2030年4月2日	TBD
Ubuntu LTS 18.04	May 31, 2023	2028年4月1日	2028年4月1日	1.24.X

デビア

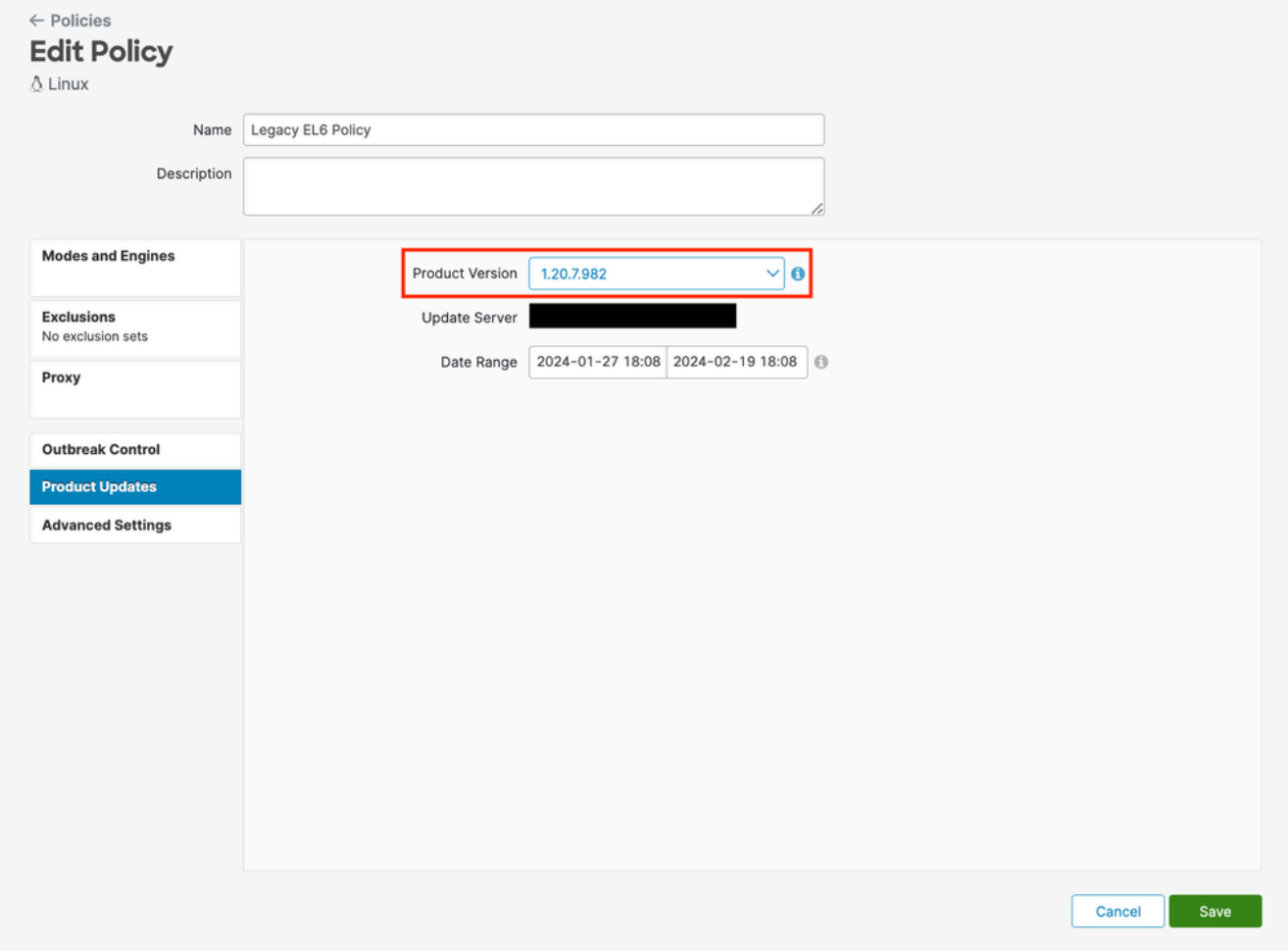
配信	ディストリビューションベンダー		Cisco Secureエンドポイントコネクタ	
	セキュリティサポートの終了	LTSの終了	LTSの終了	LTSバージョンファミリ
Debian 12	2026年6月10日	2028年6月10日	2028年6月30日	TBD
Debian 11	2024年7月1日	2026年6月30日	2026年6月30日	1.24.X
Debian 10	2022年9月10日	2024年6月30日	2024年6月30日	1.24.X

コネクタの長期サポートポリシーの設定

このコネクタのポリシーがより大きいバージョン用の場合、コネクタはポリシー同期ごとに更新(xml)シードをダウンロードしますが、更新シードがコネクタLTSファミリより大きいバージョン用の場合、コネクタは更新しません。不要な更新シードのダウンロードを避けたい場合は、現在コネクタLTSにあるレガシー配布物を、そのレガシー配布物のLTSファミリの最新バージョンを持つ別のポリシーに配置できます。

コネクタのLTS期間を通じてレガシディストリビューションを引き続き使用する場合は、レガシディストリビューション用に別のポリシーを作成することをお勧めします。新しい設定でポリシーを複製する手順については、『Linux診断データ収集用Cisco Secure Endpoint Connector』の記事の「Secure Endpoint Consoleを使用したデバッグモードの有効化」セクションを参照してください。ポリシーを編集する際には、いくつかの異なる手順を実行します。

1. Edit Policyページで、`Product Updates`タブを選択します。
2. 製品バージョンのドロップダウンから、レガシディストリビューションに対応するコネクタLTSバージョンファミリの最新の製品バージョンを選択します。



以下も参照のこと

- Linux診断データ収集用Cisco Secure Endpoint Connector
- セキュアエンドポイントソフトウェアサポートポリシー
- セキュアエンドポイントのLinuxコネクタのOS互換性の確認

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。